

<問1>

【請求項1】

目下の放送を出所とするオーディオコンテンツサンプルの識別方法であって、以下のステップを含む、すなわち、

複数の放送局を監視し、放送オーディオコンテンツを受信したときに、該放送オーディオコンテンツのフィンガープリントを採取して、該フィンガープリントを未識別の放送コンテンツのデータベースに保存するステップと、

複数の監視されている前記放送局からの識別済みの放送オーディオコンテンツの一部分と、該識別済みの放送オーディオコンテンツに対応するフィンガープリントとを含む、複数のプレイリストにアクセスするステップと、

サンプリングされたオーディオコンテンツを表すデータを、ポータブルデバイスから受け取り、該サンプリングされたオーディオコンテンツのフィンガープリントと、複数のプレイリストのうちの少なくとも一部に対応するフィンガープリントとのマッチをサーチするステップとを含み、当該ステップはさらに以下のステップを含む、すなわち、

1つの特定の監視されている放送局に関する1つの特定のプレイリストに対応するフィンガープリントに対し、フィンガープリントのマッチが見つげ出されたならば、前記特定の監視されている放送局を前記放送オーディオコンテンツのソースとして、および該放送オーディオコンテンツの説明を、前記ポータブルデバイスへ折り返し報告するステップと、

前記複数のプレイリストのいずれかに対応するフィンガープリントに対し、フィンガープリントのマッチが見つげ出されなければ、前記放送オーディオコンテンツのソースを識別するためには、監視されている前記放送局からの未識別の放送コンテンツの前記データベースの一部分と、前記サンプリングされたオーディオコンテンツを識別するためには、1つの特定の放送局に対応づけられていない識別済みのオーディオコンテンツの参照データベースと、のうちの少なくとも一方に対し、前記サンプリングされたオーディオコンテンツのフィンガープリントのマッチをサーチするステップと、

前記放送オーディオコンテンツのソースと、前記サンプリングされたオーディオコンテンツの身元のうち少なくとも一方を、前記ポータブルデバイスへ折り返し報告するステップとを含む、

目下の放送を出所とするオーディオコンテンツサンプルの識別方法。

<問2>

(A)

ビームの放射方向または受光方向は、このケースではたとえば、システムの偏向ミラーまたは照準ユニットと連携する角度測定用のセンサを用いて特定される。これに加え、測定装置から目標点までの距離は、ビームの捕捉によって特定され、これはたとえば、実行時間測定または位相差測定を用いて、あるいはフィゾーの原理を用いて特定される。

これらに加えさらに最新のトラッカーシステムの場合には、いわゆるサーボモニタリングポイントからの、受光した測定レーザビームの偏差が、センサにおいて特定され、これは次第に標準的な特徴となりつつある。このような測定可能な偏差を用いることで、再帰反射器の中心点と、この反射器へのレーザビームの入射点との間の位置の相違を求めることができ、この偏差に依存して、センサにおける偏差が減少するように、特に「ゼロ」になるように、よって、ビームが反射器中心点に方向にアライメントされるように、レーザビームのアライメントを補正可能または追尾可能である。レーザビームアライメントの追尾という手段によって、目標点の漸進的目標追尾（トラッキング **tracking**）を実施することができ、目標点の距離および位置を、トラッカーシステムに対し相対的に、漸進的に求めることができる。このケースでは、追尾を、偏向ミラーのアライメントを変化させることによって実現することができる。この偏向ミラーは、レーザビームを偏向させるために設けられたモータによって可動であり、かつ／または、ビームをガイドするレーザ光学素子を有する追尾ユニットの旋回軸によって可動である。

<問3>

この場合、磁気共鳴装置9の基本磁場磁石10は、核スピンの分極または配向のために、時間に関して一定の強い磁場を検査物体11の検査領域に生成する。この検査物体11はたとえば人体であり、この場合、人体は、検査台12に横たわりながら、検査のために磁気共鳴装置9の中に送り込まれる。核スピン共鳴測定のために必要とされる基本磁場10の高度な均質性は、一般的に球形の測定ボリュームMにおいて規定され、この測定ボリュームMの中に検査物体11が送り込まれる。均質性に対する要求を支援するために、特に、時間的に不変の影響を排除するために、磁気共鳴装置は適切なポイントに、強磁性材料から成るいわゆるシムシート材料9を有している。時間的に可変の影響は、それらの影響が望ましくないのであれば、シムコイル13によって排除される。

それらのコイルは、非線形勾配を生成するときにも用いられる。

基本磁場磁石 10 は同様に、3つの部分巻線を有する、磁気共鳴装置 9 の円筒状の勾配磁場システム 14 のための包囲部材としても用いられる。デカルト座標系の個々の方向に線形勾配磁場を生成するために、各部分巻線に対し、磁気共鳴装置 9 の増幅器 17 によって電力が供給される。第 1 の部分巻線は x 方向に勾配 G_x を生成し、第 2 の部分巻線は y 方向に勾配 G_x を生成し、さらに第 3 の部分巻線は z 方向に勾配 G_z を生成する。